

令和7年度
(2025年度)

教育実施計画書

(カリキュラム・ポリシー)

中央工学校

リベラルアーツ科

I. 教 育 目 的

国内外で通用する言語能力やあらゆる環境に対応できる異文化適応能力及びコミュニケーション能力を養い、国際的に活躍できるグローバル人材の育成を目指す。

II. 指 導 目 標

1. 各種の語学試験及び資格に挑戦し、語学力やコミュニケーション能力を向上させる。
2. 国内外の時事知識、異文化理解力、文章作成技術、思考力等を身に付けさせる。

III. 指 導 要 領

1. 担当教員は、学科の特色と目的を念頭に置いた学習・進路指導を行う。
 - ・適切な教材の選定・配布資料の作成を行い、学科の目的とレベルに合った学習指導を展開する。
 - ・語学関連の検定試験及び資格などの対策を行う。
2. 実務的な知識や技能を習得させ、学習に対する意欲を持続させる。
 - ・各科目担当教員は、その科目を学ぶ意義を学生に理解させるよう努める。
 - ・グローバルに通用する知識の習得や資格の取得を勧める。
3. 出席率の重要性を理解させ、年間を通して出席率の低下を防ぐ。
 - ・学校生活を通して規律ある生活習慣を身に付けさせ、出席率の低下を防ぐ。
 - ・遅刻や欠席が続く学生に対しては、保証人等とも連携し、厳しく指導する。
 - ・各科目の出席率が85%未満になると、補習が発生することを理解させ、担任及び各科目担当教員から指導を行う。

IV. 成 績 評 価 方 法 ・ 基 準

学則において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各科で定める一般科目や専門科目は定期試験（レポート課題含む）により成績評価を行っている。実習科目では出席率や課題内容を総合的に評価している。

100点満点における60点以上を合格とし、履修が認定される。各科目で出席率85%未満の生徒についてはその成績評価の対象としない。

V. 教科構成表

必修選択の別	教科区分	教科目	第 1 学年		授業時数	実務家教員
			前期	後期	合計	担当教科
必修科目	一般科目	実用日本語	2	2	72	
		進路対策	2	2	72	
		合宿研修	(36)		(36)	
	専門科目	文章表現理解	2	2	72	
		言語運用技術	2	2	72	
		コンピュータ概論	2		36	
		情報リテラシー		2	36	
		グローバル・サイエンス	2	2	72	
		コミュニケーション学	2	2	72	
		国際事情	2	2	72	
		異文化コミュニケーション	2	2	72	○
		現代社会概論	2	2	72	
選択科目	一般科目	TOEFL	2	2	72	
		日本語能力試験対策	2	2	72	
	専門科目	TOEIC	(2)	(2)	(72)	
		日中通訳・翻訳	(2)	(2)	(72)	○
		経営学	(2)	(2)	(72)	○
週 単 位 時 間 数			24	24	864	
週 数			18	18	36 週	
年 間 (3 6 週) 授 業 時 数			864		864	

VI. 教科別教育実施計画書

一般科目	講義	実用日本語	1 学年	前・後期
目的・目標（指標）		目的：大学院入試に対応できる語彙・文法能力の養成と、大学院入学後の研究活動に役立つ言語知識の獲得を目的とする。 目標：日本語能力試験 N1 の「言語知識」部門の得点が前回は上回ることを目標とする。		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教 程	教 程 内 容		
1	日本語能力試験【文法語彙】対策(1)	文法 1 課 時間関係①、語彙 第 1 部 1 章 1 課「性格・人柄」		
2	日本語能力試験【文法語彙】対策(2)	文法 1 課 時間関係②、語彙 第 1 部 1 章 2 課「人間関係・付き合い」		
3	日本語能力試験【文法語彙】対策(3)	文法 2 課 範囲の始まり・限度、語彙 第 2 部 1 章 1 課「名詞」		
4	日本語能力試験【文法語彙】対策(4)	文法 3 課 限定・非限定・付加、語彙 第 2 部 1 章 1 課「名詞」		
5	日本語能力試験【文法語彙】対策(5)	文法 4 課 例示、語彙 第 2 部 1 章 2 課「動詞」		
6	日本語能力試験【文法語彙】対策(6)	文法 5 課 関係・無関係、語彙 第 2 部 1 章 2 課「動詞」		
7	日本語能力試験【文法語彙】対策(7)	文法 6 課 様子、語彙 第 2 部 1 章 2 課「動詞」		
8	日本語能力試験【文法語彙】対策(8)	文法 7 課 不随行動、語彙 第 1 部 2 章 1 課「日常生活」		
9	日本語能力試験【文法語彙】対策(9)	文法 8 課 逆接、語彙 第 1 部 2 章 2 課「医療・健康」		
10	日本語能力試験【文法語彙】対策(10)	文法 9 課 条件、語彙 第 2 部 2 章 1 課「副詞・形容詞」		
11	日本語能力試験【文法語彙】対策(11)	文法 10 課 逆接条件、語彙 第 2 部 2 章 1 課「副詞・形容詞」		
12	日本語能力試験【文法語彙】対策(12)	文法 11 課 目的・手段、語彙 第 1 部 3 章「芸術・スポーツ」		
13	日本語能力試験【文法語彙】対策(13)	文法 12 課 原因・理由、語彙 第 2 部 2 章 2 課「動詞・名詞」		
14	日本語能力試験【文法語彙】対策(14)	文法 13 課 可能・不可能・禁止、語彙 第 2 部 2 章 2 課「動詞」		
15	日本語能力試験【文法語彙】対策(15)	文法 14 課 話題・評価の基準、語彙 第 2 部 3 章 1 課「漢語」		
16	日本語能力試験【文法語彙】対策(16)	文法 15 課 比較対照、語彙 第 2 部 3 章 1 課「漢語」		
17	まとめ(1)	教科書の復習		
18	まとめ(2)	問題演習		
後 期（2 時限）				
週	教 程	教 程 内 容		
1	日本語能力試験【文法語彙】対策(1)	文法 16 課 結末・最終の状態、語彙 第 2 部 1 章 1 課（1）		
2	日本語能力試験【文法語彙】対策(2)	文法 17 課 強調、語彙 第 2 部 4 章 1 課（2）		
3	日本語能力試験【文法語彙】対策(3)	文法 18 課 主張・断定、語彙 第 2 部 4 章 2 課（1）		
4	日本語能力試験【文法語彙】対策(4)	文法 19 課 評価・感想・付加、語彙 第 2 部 4 章 2 課（2）		
5	日本語能力試験【文法語彙】対策(5)	文法 20 課 心情・強制的思い、語彙 第 2 部 4 章 3 課（1）		
6	日本語能力試験【文法語彙】対策(6)	文法 文法形式の整理 AB、語彙 第 2 部 4 章 3 課（2）		
7	日本語能力試験【文法語彙】対策(7)	文法 文法形式の整理 CD、語彙 第 2 部 5 章 1 課（1）		
8	日本語能力試験【文法語彙】対策(8)	文法 文法形式の整理 EFG、語彙 第 2 部 5 章 1 課（2）		
9	日本語能力試験【文法語彙】対策(9)	文法 第 2 部文の組み立て-1、語彙 第 2 部 5 章 2 課（1）		
10	日本語能力試験【文法語彙】対策(10)	文法 第 2 部文の組み立て-2、語彙 第 2 部 5 章 2 課（2）		
11	日本語能力試験【文法語彙】対策(11)	文法 第 2 部文の組み立て-3、語彙 第 2 部 6 章 1 課		
12	日本語能力試験【文法語彙】対策(12)	文法 第 3 部 1 課時制、語彙 第 2 部 6 章 2 課		
13	日本語能力試験【文法語彙】対策(13)	文法 第 3 部 2 課条件を表す文、語彙 第 2 部 7 章 1 課（1）		
14	日本語能力試験【文法語彙】対策(14)	文法 第 3 部 3 課視点を動かさない手段、語彙 第 2 部 7 章 1 課（2）		
15	日本語能力試験【文法語彙】対策(15)	文法 第 3 部 4 課視点を動かさない手段、語彙 第 2 部 7 章 2 課（1）		
16	日本語能力試験【文法語彙】対策(16)	文法 第 3 部 5 課視点を動かさない手段、語彙 第 2 部 7 章 2 課（2）		
17	文法復習（1）	教科書前半部分の総復習		
18	語彙復習（1）	教科書前半部分の総復習		

一般科目	講義	進路対策	1 学年	前・後期
目的・目標（指標）		目的：研究計画書や志望理由書の作成方法や小論文記述法の基礎を学ぶことを通して、大学院での研究活動に必要な論理的思考力を身につける。 目標：研究計画書・志望理由書・口頭試問・小論文試験に必要な知識を身につけ、これまでの研究やこれからの研究について簡単に表現できるようにする。		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	オリエンテーション(1)		授業の進め方	
2	オリエンテーション(2)		大学院受験の基本	
3	オリエンテーション(3)		小論文の基本	
4	オリエンテーション(4)		研究計画書の基本	
5	研究計画書・志望理由書(1)		大学での研究、志望理由、修了後の予定の書き方	
6	研究計画書・志望理由書(2)		研究テーマの設定	
7	研究計画書・志望理由書(3)		先行研究批判	
8	研究計画書・志望理由書(4)		研究内容のまとめ方	
9	研究計画書・志望理由書(5)		引用の表現	
10	研究計画書・志望理由書(6)		研究意義の表現	
11	研究計画書・志望理由書(7)		総復習・発表の方法	
12	研究発表(1)		学生による研究発表	
13	研究発表(2)		学生による研究発表	
14	研究発表(3)		学生による研究発表	
15	研究発表(4)		学生による研究発表	
16	研究発表(5)		学生による研究発表	
17	研究発表(6)		学生による研究発表	
18	まとめ		まとめ	
後 期（2 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	前期の復習		研究計画書、志望理由書の書き方の再確認	
2	研究計画発表(1)		学生による研究計画発表	
3	研究計画発表(2)		学生による研究計画発表	
4	小論文対策(1)		小論文作成に必要な知識	
5	研究計画発表(3)		学生による研究計画発表	
6	研究計画発表(4)		学生による研究計画発表	
7	小論文対策(2)		小論文作成演習	
8	研究計画発表(5)		学生による研究計画発表	
9	研究計画発表(6)		学生による研究計画発表	
10	小論文対策(3)		小論文作成演習	
11	研究計画発表(7)		学生による研究計画発表	
12	研究計画発表(8)		学生による研究計画発表	
13	進路未定学生進路確認(1)		今後の予定など	
14	進路未定学生進路確認(2)		今後の予定など	
15	進路未定学生進路確認(3)		今後の予定など	
16	進路未定学生進路確認(4)		今後の予定など	
17	個別指導、書類確認(1)		個別面接指導、書類確認など	
18	個別指導、書類確認(2)		個別面接指導、書類確認など	

一般科目	実習	合宿研修	1 学年	後期
目的・目標（指標）		目的：合宿研修を通して、団体行動や規律の重要性を理解する。 目標：合宿研修の目的をよく理解し、課題をこなし、研修に合格すること。		
指 導 内 容				
日 時： 5 月 14 日～16 日 参加人数： 30 名（予定） 引率教員： 1 名				

専門科目	講義	文章表現理解	1 学年	前・後期
目的・目標（指標）		目的：大学院入試に対応できる読解力の養成と、大学院入学後の研究活動に対応できるだけの読む力の獲得を目的とする。 目標：日本語能力試験 N1 の「読解」部門の得点が前回は上回ることを目標とする。		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	読む力	第 1 課 心のバリアフリー(1)	全体把握、言語タスク	
2	読む力	第 1 課 心のバリアフリー(2)	認知タスク 1～9	
3	読む力	第 1 課 心のバリアフリー(3)	乙武洋匡出演のトーク番組を視聴、ディスカッション	
4	読む力	第 2 課 「心の病」を考える(1)	全体把握、言語タスク	
5	読む力	第 2 課 「心の病」を考える(2)	認知タスク、自国での心の病の事例紹介	
6	読む力	第 2 課 「心の病」を考える(3)	自国での心の事例紹介、第 1 課、第 2 課のまとめのテスト	
7	読む力	第 3 課 「少女漫画家ぐらし」へ	全体把握、言語タスク、認知タスク	
8	読む力	第 4 課 プロフィール(1)	全体把握、全体の音読、言語タスク 1～5	
9	読む力	第 4 課 プロフィール(2)	言語タスク 6～9、認知タスク、紹介したい人のプロフィール	
10	読む力	第 4 課 プロフィール(3)	紹介した人のプロフィール発表、第 5 課全体把握	
11	読む力	第 5 課 インタビュー(1)	言語タスク、認知タスク	
12	読む力	第 5 課 インタビュー(2)	朝日新聞のインタビュー記事を読む、QA シート	
13	読む力	第 6 課 いつも学びがある(1)	全体把握、言語タスク	
14	読む力	第 6 課 いつも学びがある(2)	認知タスク、小論文、発表	
15	読む力	第 6 課 いつも学びがある(3)	日野原重明についての文章を読む、第 3～第 5 課のまとめのテスト	
16	読む力	第 8 課 緑のカーテン(1)	前週のまとめのテスト復習、第 8 課全体把握	
17	読む力	第 8 課 緑のカーテン(2)	言語タスク、認知タスク	
18	まとめ		まとめ	
後 期（2 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	読む力	第 7 課「早朝時間」の活用(1)	全体把握、言語タスク、漢字 25～30	
2	読む力	第 7 課「早朝時間」の活用(2)	認知タスク、漢字 31～36	
3	読む力	第 9 課 環境立国ニッポン(1)	全体把握、言語タスク、漢字 49～54	
4	読む力	第 9 課 環境立国ニッポン(2)	認知タスク、漢字 55～60	
5	読む力	第 10 課 渡り鳥はなぜ迷わない？(1)	全体把握、言語タスク、漢字 61～66	
6	読む力	第 10 課 渡り鳥はなぜ迷わない？(2)	認知タスク、漢字 67～73	
7	読む力	第 11 課 フリーズする脳(1)	全体把握、言語タスク、漢字 74～80	
8	読む力	第 11 課 フリーズする脳(2)	認知タスク、漢字 81～87	
9	日本語らしさに配慮した作文練習①		高コンテキストと低コンテキスト、主語、目的語の省略	
10	日本語らしさに配慮した作文練習②		人称代名詞の処理方法、人称代名詞の処理方法	
11	日本語らしさに配慮した作文練習③		語順の入れ替え、品詞を変化させる、長い名詞句や連体修飾語	
12	オノマトペ (1)		擬音語、擬態語、擬音語、擬態語の活用	
13	オノマトペ (2)		練習①、練習②	
14	サマライゼーション		5W1H による長文の分析、練習	
15	サマライゼーション		順番入れ替えによる要約	
16	専門書購読 (1)		人文科学分野の文章を読む	
17	専門書購読 (2)		人文科学分野の文章を読む	
18	専門書購読 (3)		社会科学分野の文章を読む	

専門科目	講義	言語運用技術	1 学年	前・後期
目的・目標（指標）		目的：映像教材等を用いた聞き取り練習で、ポイントを把握するコツを身につけ、大意把握力や質問の意図を汲み取る力を身に付けることを目的とする。 目標：日本語能力試験 N1 の「聴解」部門の得点が前回は上回ることを目標とする。		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1	社会面ニュースで学ぶ日本語(1)		さくらの通り抜け dict.	
2	社会面ニュースで学ぶ日本語(2)		事故のニュース dict.	
3	内政外交ニュースで学ぶ日本語(1)		内政外交ニュース dict. NHK ニュース 7 dict.	
4	内政外交ニュースで学ぶ日本語(2)		テレ朝ニュースリーダーの人物ニュース dict.	
5	経済ニュースで学ぶ日本語(1)		ワールドビジネスサテライト（テレ東）dict. NHK 時論公論から QA	
6	経済ニュースで学ぶ日本語(2)		NHK ニュース 7 dict. 池上彰さんの番組から QA	
7	ドキュメンタリーで学ぶ日本語(1)		BS 1 スペシャルでアジアを特集した番組から QA、要約	
8	ドキュメンタリーで学ぶ日本語(2)		未解決事件を扱った番組から QA、要約	
9	クイズ番組で学ぶ日本語(1)		日本大好き外国人 N01 決定戦 QA、dict.	
10	クイズ番組で学ぶ日本語(2)		Q さま QA、さんまのご長寿グランプリ dict.	
11	トーク番組で学ぶ日本語(1)		徹子の部屋「野際陽子」QA、要約	
12	トーク番組で学ぶ日本語(2)		佐和子の朝 時の人出演回 QA、要約	
13	ドラマで学ぶ日本語(1)		世にも奇妙「石油が出た」QA、「来世不動産」QA	
14	ドラマで学ぶ日本語(2)		世にも奇妙「猫が恩返し」QA、「輪廻の村」あらすじ	
15	ドラマで学ぶ日本語(3)		世にも奇妙「AIR ドクター」QA、「イマキヨさん」要約	
16	トーク番組で学ぶ日本語(3)		佐和子の朝 時の人出演回 QA、要約	
17	クイズ番組で学ぶ日本語(3)		日本大好き外国人 N01 決定戦 QA、dict.	
18	まとめ		まとめ	
後 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1	時事日本語(1)		ワイドショー等で取り上げられた事件の dict.	
2	時事日本語(2)		社会面ニュース dict.	
3	時事日本語(3)		内政外交ニュース dict.	
4	ドキュメンタリーで学ぶ日本語(1)		BS 1 スペシャルでアジアを特集した番組から QA	
5	トーク番組で学ぶ日本語(1)		徹子の部屋「杉本彩」QA、要約	
6	ドラマで学ぶ日本語(1)		世にも奇妙「昨日公園」QA、「爆弾男のスイッチ」QA	
7	ドキュメンタリーで学ぶ日本語(2)		未解決事件を扱った番組から QA、その要約	
8	クイズ番組で学ぶ日本語(1)		くりぃむクイズ ミラクル 9 QA、ポイント整理	
9	クイズ番組で学ぶ日本語(2)		Q さま QA、Q さま ポイント整理	
10	経済ニュースで学ぶ日本語(1)		ワールドビジネスサテライト QA、NHK ニュース 7 dict.	
11	ドラマで学ぶ日本語(2)		世にも奇妙「地獄で裁判」QA、「真夜中の殺人者」要約	
12	ドラマで学ぶ日本語(3)		世にも奇妙「ボランティア降臨」QA、「未来同窓会」あらすじ	
13	トーク番組で学ぶ日本語(2)		佐和子の朝 時の人出演回 QA、佐和子の朝 時の人出演回要約	
14	ドキュメンタリーで学ぶ日本語(3)		世界法廷ミステリーから dict.、世界法廷ミステリーから QA	
15	ドラマで学ぶ日本語(4)		世にも奇妙「脱出ゲーム」QA、「少年」QA	
16	ドラマで学ぶ日本語(5)		本当にあった怖い話「事故物件」要約、「姿見」QA	
17	クイズ番組で学ぶ日本語(3)		くりぃむクイズ ミラクル 9	
18	クイズ番組で学ぶ日本語(4)		Q さま QA、Q さま ポイント整理	

専門科目	実習	コンピュータ概論	1 学年	前期
目的・目標（指標）		目的：日本語版の Word、PowerPoint を利用して、レポート・論文の作成やプレゼンテーションができるようにする。 目標：Word の基本機能を理解・使用し、図やグラフなどを用いた文書を作成することができる。PowerPoint の基本的機能を理解・使用し、画像、表、グラフなどを用いたグラフィカルなプレゼンテーション資料を作成することができる。		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1	オリエンテーション		教室環境の説明、注意事項 タイピング練習	
2	日本語入力		日本語入力（短文・長文）	
3	文章作成：Word(1)		基本的な文章作成、練習問題	
4	文章作成：Word(2)		図や表の挿入、練習問題	
5	文章作成：Word(3)		表現力のアップ、練習問題	
6	文章作成：Word(4)		長文レポートの編集、練習問題	
7	文章作成：Word(5)		その他 Word 機能①②	
8	文章作成：Word(6)		その他 Word 機能③④	
9	文章作成：Word(7)		その他 Word 機能⑤⑥	
10	プレゼンテーション：PowerPoint(1)		プレゼンテーションの作成、練習問題	
11	プレゼンテーション：PowerPoint(2)		オブジェクトの挿入、練習問題	
12	プレゼンテーション：PowerPoint(3)		アニメーションの設定、練習問題	
13	プレゼンテーション：PowerPoint(4)		共通デザインの設定、練習問題	
14	プレゼンテーション：PowerPoint(5)		スライドショーに役立つ機能の利用、プレゼンテーションの流れ	
15	プレゼンテーション：PowerPoint(6)		その他 PowerPoint 機能①②	
16	プレゼンテーション：PowerPoint(7)		その他 PowerPoint 機能③④	
17	まとめ		総復習	
18	定期試験対策		練習問題	
後 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				

専門科目	実習	情報リテラシー	1 学年	後期
目的・目標（指標）		目的：大学院進学後、日本語版の Excel を利用して、レポート・論文の作成ができるようにする。 目標：Excel の基本的機能を理解し、表、グラフ、データベース、ピボットテーブルを作成・活用することができる。		
指 導 内 容				
前 期				
週	教 程		教 程 内 容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
後 期（2 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	オリエンテーション		Excel 入門(1)、Excel 入門(2)	
2	表計算ソフト:Excel(1)		表の作成・編集、表の作成・編集 練習問題	
3	表計算ソフト:Excel(2)		グラフの作成、グラフの作成 練習問題	
4	表計算ソフト:Excel(3)		データベースの操作、データベースの操作 練習問題	
5	表計算ソフト:Excel(4)		関数の活用(1)、関数の活用(1) 練習問題	
6	表計算ソフト:Excel(5)		関数の活用(2)、関数の活用(2) 練習問題	
7	表計算ソフト:Excel(6)		ユーザー定義の表現形式の設定、条件付き書式の設定	
8	表計算ソフト:Excel(7)		高度なグラフの作成、高度なグラフの作成 練習問題	
9	表計算ソフト:Excel(8)		ピボットテーブルの作成、ピボットテーブルの作成の活用	
10	表計算ソフト:Excel(9)		データベースの活用、マクロの作成	
11	表計算ソフト:Excel(10)		専門分野におけるデータ活用	
12	表計算ソフト:Excel(11)		わかりやすいデータ表示	
13	表計算ソフト:Excel(12)		Excel 総復習(1)	
14	表計算ソフト:Excel(13)		Excel 総復習(2)	
15	表計算ソフト:Excel(14)		Excel を使ったプレゼンテーション	
16	PowerPoint への応用(1)		Word と Excel の機能を使いこなす	
17	PowerPoint への応用(2)		PowerPoint を使ったプレゼンテーション（1）	
18	PowerPoint への応用(3)		PowerPoint を使ったプレゼンテーション（2）	

専門科目	講義	グローバル・サイエンス	1 学年	前・後期
目的・目標（指標）		目的：科学はどこからやってきたのか、どのように行われている営みなのか、科学のプロフィールとなるものを平易な言葉で紹介する。 目標：日常生活の中で活躍する様々な科学について理解を深め、今後の研究の参考にする。		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	ガイダンス		日常の科学	
2	食と科学（1）		食品添加物	
3	食と科学（2）		遺伝子組み換え技術	
4	食と科学（3）		加工しないこと	
5	食と科学（4）		カフェイン	
6	食と科学（5）		朝ごはん	
7	食と科学（6）		おいしさの秘密	
8	食と科学（7）		食の安全	
9	数学と科学(1)		物語の真実	
10	数学と科学(2)		数学と科学	
11	数学と科学(3)		意外な割合	
12	数学と科学(4)		1 + 1 はなぜ 2	
13	数学と科学(5)		物理学と数学	
14	数学と科学(6)		不思議な数列	
15	数学と科学(7)		架空の数字	
16	数学と科学(8)		数字の始まり	
17	数学と科学(9)		対数	
18	まとめ		まとめ	
後 期（2 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	社会と科学(1)		感染症の数理モデル	
2	社会と科学(2)		科学の研究	
3	社会と科学(3)		研究不正	
4	社会と科学(4)		教科書	
5	社会と科学(5)		科学を支える人	
6	社会と科学(6)		科学に答えられない問題	
7	健康と科学(1)		ワクチン	
8	健康と科学(2)		ワクチンの副反応	
9	健康と科学(3)		血液	
10	健康と科学(4)		ジェネリック医薬品	
11	健康と科学(5)		医学の専門家	
12	健康と科学(6)		医学	
13	健康と科学(7)		棋士の直感	
14	物理と科学(1)		スパゲッティ	
15	物理と科学(2)		ホワイトホール	
16	物理と科学(3)		天文台	
17	物理と科学(4)		様々な形	
18	まとめ		まとめ	

専門科目	講義	コミュニケーション学	1 学年	前・後期
目的・目標（指標）		目的：現代思想を通じて、今後の研究に有効な論理的思考力と常識を疑う姿勢を身につける。 目標：（1）大学院入試或いは出願において、本授業で学んだことを有効に活用する。 （2）定期試験で全員が B 評定以上の成績を取る。		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1	オリエンテーション		授業の進め方 なぜ現代思想を学ぶか	
2	コピーからオリジナルが生まれる (1)		オリジナルとコピー	
3	コピーからオリジナルが生まれる (2)		「作者の死」と「脱構築」	
4	コピーからオリジナルが生まれる (3)		コピーの重要性（寿司職人）	
5	n 個の性、n 個の人格 (1)		L G B T	
6	n 個の性、n 個の人格 (2)		ジェンダー	
7	n 個の性、n 個の人格 (3)		L G B T（企業の取り組み）	
8	n 個の性、n 個の人格 (4)		社会構築主義	
9	監視される生き方 (1)		権力の構造	
10	監視される生き方 (2)		パノプティコン	
11	監視される生き方 (3)		ミシェル・フーコー	
12	人間をつくりかえる (1)		高度救急救命医療	
13	人間をつくりかえる (2)		少子高齢化問題	
14	人間をつくりかえる (3)		社会福祉	
15	自然は文化 (1)		様々な環境問題	
16	自然は文化 (2)		日本の環境対策	
17	自然は文化 (3)		自然と食 捕鯨問題	
18	まとめ		まとめ	
後 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1	オリエンテーション		前期の復習	
2	功利主義 (1)		ベンサムとミル	
3	功利主義 (2)		犠牲になる命を選べるか	
4	功利主義 (3)		サバイバルの為の殺人	
5	功利主義 (4)		まとめ	
6	様々な自由主義 (1)		自由について	
7	様々な自由主義 (2)		中国のネット社会	
8	様々な自由主義 (3)		様々な自由主義	
9	様々な自由主義 (4)		中国の 421 社会	
10	様々な自由主義 (5)		最近の話題から	
11	コミュニケーション論 (1)		ハーバーマス、最近の話題から	
12	コミュニケーション論 (2)		オースティン、最近の話題から	
13	コミュニケーション論 (3)		ハンナ・アーレント	
14	コミュニケーション論 (4)		スタンレー・ミルグラム	
15	現代思想 (1)		思想家の言葉、最近の話題から	
16	現代思想 (2)		思想家の言葉、最近の話題から	
17	現代思想 (3)		思想家の言葉、最近の話題から	
18	現代思想 (4)		思想家の言葉、最近の話題から	

専門科目	講義	国際事情	1 学年	前・後期
目的・目標（指標）		目的：短期的には、大学院進学のための一般常識や教養を身に付けること。そして将来、国際人としての素養や国際感覚を身に付け、世界のどこでも活躍できるようになること。 目標：世界情勢と日本の状況を対比することにより、世界と日本の抱える問題点・課題を理解できるようになること。また、定期試験で全員がB評定以上の成績を取ることを目標とする。		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	オリエンテーション		授業ガイダンス・自己紹介等 授業の進め方などについて	
2	2022 年の世界情勢（1）		昨年の世界情勢について 新型コロナウイルスと世界	
3	2022 年の世界情勢（2）		ウクライナ紛争と世界 世界各国の資源戦略	
4	次世代自動車開発について		電気自動車（EV）とは 各国における開発について	
5	世界の政治		世界の政治体制 国際政治と世界	
6	世界の国々（1）		国家とは何か	
7	世界の国々（2）		世界の国々について	
8	世界の王室		王制とは何か 世界の王国について	
9	世界の地理		さまざまな世界地図 地図の見方について	
10	世界の領土		世界の領土問題 領土問題と飛び地	
11	世界の自然		地理と自然 地理による文化の違い	
12	SDGs と世界		SDGs とは何か 各国の SDGs への取り組み	
13	地球環境		環境問題の現状 世界各国の環境への取り組み	
14	世界遺産		世界遺産とは何か 各国の世界遺産について	
15	世界の規格		規格とは何か 世界のさまざまな規格	
16	エネルギー問題（1）		化石燃料と再生エネルギー	
17	エネルギー問題（2）		エネルギー問題について	
18	まとめ		まとめ	
後 期（2 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	前期の復習と後期の計画		前期試験の解説と講評 後期のスケジュール解説	
2	人類と感染症の歴史（1）		新型コロナと感染症	
3	人類と感染症の歴史（2）		パンデミックの歴史と対策	
4	オリンピックとスポーツ		オリンピックの歴史と発展 国際スポーツの抱える問題	
5	グローバル化と世界（1）		グローバル化の定義と歴史 グローバル化がもたらすもの	
6	グローバル化と世界（2）		グローバル化と世界の変化	
7	グローバル化と世界（3）		グローバル化のもたらす問題	
8	世界の宗教（1）		世界三大宗教 世界における宗教の分布	
9	世界の宗教（2）		宗教と世界の文化	
10	世界の宗教（3）		宗教対立と国際紛争	
11	世界の通貨		世界の通貨について 基軸通貨とは何か	
12	日本と世界の家族		「家族」の定義とその歴史 世界と日本の家族の現状	
13	日本と世界の雇用		「日本的経営」とは何か 雇用をめぐる世界の問題	
14	世界の文化について		世界の人々と文化 文化の交流と衝突	
15	日本と世界の文化（1）		日本の文化の変遷と歴史 日本と世界の文化の交流	
16	日本と世界の文化（2）		日本のマンガと世界のマンガ 日本のマンガの歴史と発展	
17	日本と世界の文化（3）		日本のアニメと世界の現状 日本のアニメの歴史と発展	
18	まとめ		まとめ	

専門科目	講義	異文化コミュニケーション	1 学年	前・後期
目的・目標（指標）		目的：異なる文化、価値観を理解する姿勢と異文化コミュニケーションについて常に考える習慣を身に付ける。 目標：(1)大学入試或いは出願において、本授業で学んだことを有効に活用する。 (2)定期試験で全員がB評定以上の成績を取る。		
実務家教員の実務経験		海外で異文化交流事業に携わった経験があり、様々な国の文化や習慣、異文化間のコミュニケーションやマナーについて造詣が深い。		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1	オリエンテーション		自己紹介、授業の進め方	
2	異文化コミュニケーションとは		違いを認識すること	
3	異文化コミュニケーションにおけるノイズ		ステレオタイプ、スキーマ	
4	コミュニケーションタイプ		自己診断、アサーティブコミュニケーション	
5	異文化体験(1)		満州国の歴史	
6	異文化体験(2)		イスラムの基礎知識	
7	異文化体験(3)		移民難民問題	
8	異文化体験(4)		日本の伝統文化	
9	異文化体験(5)		観光ビジネス	
10	異文化体験(6)		日本のおもてなし	
11	異文化体験(7)		日本の伝統芸能	
12	異文化体験(8)		落語	
13	様々な文化・習慣(1)		ジェンダーから見る世界	
14	様々な文化・習慣(2)		寡婦殉死	
15	様々な文化・習慣(3)		アシッドアタック	
16	様々な文化・習慣(4)		誘拐結婚	
17	様々な文化・習慣(5)		捕鯨問題	
18	まとめ		まとめ	
後 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1	テーマ別討論(1)		前期の復習、発表の要領について	
2	テーマ別討論(2)		私の異文化体験（発表）、世界の習慣、最近の話題から	
3	テーマ別討論(3)		私の異文化体験（発表）、世界の習慣、最近の話題から	
4	テーマ別討論(4)		私の異文化体験（発表）、世界の習慣、最近の話題から	
5	テーマ別討論(5)		私の異文化体験（発表）、世界の習慣、最近の話題から	
6	テーマ別討論(6)		私の異文化体験（発表）、マナーに対する考え方	
7	テーマ別討論(7)		私の異文化体験（発表）、相互主義	
8	テーマ別討論(8)		私の異文化体験（発表）、価値観の多様性	
9	交流授業準備(1)		討論について、サービスとおもてなし	
10	交流授業準備(2)		表現法の確認	
11	交流授業準備(3)		実践練習	
12	交流授業		自己紹介、討論	
13	交流授業を振り返る		感想文、文化の衝突について	
14	テーマ別討論(9)		私の異文化体験（発表）、コミュニケーションの種類	
15	テーマ別討論(10)		私の異文化体験（発表）、相手の立場に立って考える	
16	テーマ別討論(11)		私の異文化体験（発表）、察すること	
17	テーマ別討論(12)		私の異文化体験（発表）、偏見、差別について（1）	
18	テーマ別討論(13)		私の異文化体験（発表）、偏見、差別について（2）	

専門科目	講義	現代社会概論	1 学年	前・後期
目的・目標（指標）		目的：（1）現代社会の仕組みや時事に関する最低限の知識を身に付けること。 （2）国際人としてグローバルな視点で物事を考えられるようになること。 目標：（1）面接などで、本授業での内容を活かせるようになること。 （2）定期試験において全員 B 評定以上取れるようになること。		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教程	教程内容		
1	オリエンテーション	授業のルール、進め方		
2	時事問題（1）	最新時事		
3	現代社会の特色と私たち（1）	グローバル化、多文化社会		
4	時事問題（2）	最新時事		
5	現代社会の特色と私たち（2）	情報化、情報リテラシー		
6	現代社会の特色と私たち（3）	少子高齢化、多様化する家族		
7	現代社会の特色と私たち（4）	持続可能な社会に向けて、社会参画		
8	時事問題（3）	最新時事		
9	私たちの生活と文化（1）	私たちの生活と文化の役割、科学・宗教・芸術		
10	私たちの生活と文化（2）	暮らしに生きる伝統文化、伝統文化の継承と保存		
11	私たちの生活と文化（3）	多文化共生を目指して、異文化理解		
12	現代社会の見方や考え方（1）	社会集団の中で生きる私たち、対立と合意		
13	現代社会の見方や考え方（2）	効率と公正、機会と結果		
14	現代社会の見方や考え方（3）	決まりを作る目的と方法、決定の仕方		
15	現代社会の見方や考え方（4）	決まりの評価と見直し、決まりの見直しの重要性		
16	時事問題（4）	最新時事		
17	時事問題（5）	最新時事		
18	まとめ	まとめ		
後 期（2 時限）				
週	教程	教程内容		
1	前期の復習、時事問題（1）	前期の復習、最新時事		
2	立憲主義と日本国憲法	立憲主義、日本国憲法		
3	国民主権と天皇の地位（1）	国民主権、天皇の地位		
4	国民主権と天皇の地位（2）	皇位継承、皇位継承に関する DVD		
5	日本の平和憲法	平和主義、第 9 条		
6	基本的人権と個人の尊重	基本的人権、法の下での平等		
7	時事問題（2）	最新時事		
8	平等権（1）	平等権、日本での差別①		
9	平等権（2）	日本での差別②、日本での差別③		
10	時事問題（3）	最新時事		
11	自由権	自由権、自由権の詳細		
12	社会権	社会権、社会権の詳細		
13	人権保障	参政権、請求権		
14	時事問題（4）	最新時事		
15	国際社会（1）	米中の対立と強調		
16	国際社会（2）	難民・移民問題		
17	時事問題（5）	最新時事		
18	社会・環境（1）	東京五輪		

一般科目	講義	選択科目：TOEFL	1 学年	前・後期
目的・目標（指標）		目的：(1)TOEFL Test iBT の受験対策を行い、受験を奨励する。 (2)大学・大学院での英文資料読解力を養成する。 目標：TOEFL Test iBT 80 点以上を取得する。		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教 程	教 程 内 容		
1	授業オリエンテーション	TOEFL 概要、授業方針、語彙テスト、リスニングテスト		
2	語彙、速読、リスニング(1)	芸術、リスニング 1		
3	語彙、速読、リスニング(2)	文学、リスニング 2		
4	語彙、速読、リスニング(3)	音楽、リスニング 3		
5	語彙、速読、リスニング(4)	比較、リスニング 4		
6	語彙、速読、リスニング(5)	生物学、リスニング 5		
7	語彙、速読、リスニング(6)	医学、リスニング 6		
8	語彙、速読、リスニング(7)	動物生態、リスニング 7		
9	語彙、速読、リスニング(8)	意見、リスニング 8		
10	語彙、速読、リスニング(9)	歴史、リスニング 9		
11	語彙、速読、リスニング(10)	社会、リスニング 10		
12	語彙、速読、リスニング(11)	因果関係、リスニング 11		
13	語彙、速読、リスニング(12)	テクノロジー、リスニング 12		
14	スピーキングテスト(1)	スピーキングテスト 1		
15	スピーキングテスト(2)	スピーキングテスト 2		
16	要約問題導入(1)	リーディング要約練習 1		
17	要約問題導入(2)	リスニング要約練習 2		
18	まとめ	まとめ		
後 期（2 時限）				
週	教 程	教 程 内 容		
1	リスニング、リーディング要約（1）	リスニングテスト、語彙テスト lesson 9		
2	リスニング、リーディング要約（2）	リスニングテスト、語彙テスト lesson 9		
3	リスニング、リーディング要約（3）	リスニングテスト、語彙テスト lesson 10		
4	リスニング、リーディング要約（4）	リスニングテスト、語彙テスト lesson 10		
5	リスニング、リーディング要約（5）	リスニングテスト、語彙テスト lesson 11		
6	リスニング、リーディング要約（6）	リスニングテスト、語彙テスト lesson 12		
7	リスニング、リーディング要約（7）	リスニングテスト、語彙テスト lesson 13		
8	リスニング、リーディング要約（8）	リスニングテスト、語彙テスト lesson 14		
9	リスニング、リーディング要約（9）	リスニングテスト、語彙テスト lesson 15		
10	リスニング、リーディング比較スピーキング（1）	lesson 16		
11	リスニング、リーディング比較スピーキング（2）	lesson 16		
12	リスニング、リーディング比較スピーキング（3）	lesson 17		
13	リスニング、リーディング比較スピーキング（4）	lesson 17		
14	リスニング、リーディング比較スピーキング（5）	lesson 18		
15	リスニング、リーディング比較スピーキング（6）	lesson 18		
16	リスニング、リーディング比較スピーキング（7）	lesson 19		
17	リスニング、リーディング比較スピーキング（8）	lesson 19		
18	インテグレイテッドスピーキングテスト(1)	スピーキングテスト①		

一般科目	講義	選択科目：日本語能力試験対策	1 学年	前・後期
目的・目標（指標）		目的：すべての学生が日本語の文字語彙、文法、読解、聴解の 4 分野で知識・能力を増進することを目的とする。 目標：日本語能力試験 N1 レベル合格を目標とする。		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	文字語彙・文法・読解(1)		漢字・文の文法・指示代名詞に注目した読解	
2	文字語彙・文法・読解(2)		動詞の文脈規定・文の文法・指示代名詞に注目した読解	
3	文字語彙・文法・読解(3)		名詞の文脈規定・文の文法・指示代名詞に注目した読解	
4	文字語彙・文法・読解(4)		い形容詞の文脈規定・文の文法・指示代名詞に注目した読解	
5	文字語彙・文法・読解(5)		な形容詞の文脈規定・文の文法・理由を問う読解	
6	文字語彙・文法・読解(6)		副詞の文脈規定・文の文法・理由を問う読解	
7	文字語彙・文法・読解(7)		類義の動詞・文の文法・理由を問う読解	
8	文字語彙・文法・読解(8)		類義のい形容詞・文の文法・理由を問う読解	
9	文字語彙・文法・読解(9)		類義のな形容詞・文の文法・理由を問う読解	
10	聴解・文法・文字語彙(1)		課題理解の聴解・文の文法・類義の副詞	
11	聴解・文法・文字語彙(2)		ポイント理解の聴解・文の文法・動詞の用法	
12	聴解・文法・文字語彙(3)		概要理解の聴解・文の文法・名詞の用法	
13	聴解・文法・文字語彙(4)		即時応答の聴解・文の文法・外来語の用法	
14	聴解・文法・文字語彙(5)		統合理解の聴解・文の文法・い形容詞の用法	
15	聴解・文法・文字語彙(6)		課題理解の聴解・文の文法・な形容詞の用法	
16	聴解・文法・文字語彙(7)		ポイント理解の聴解・文の文法・副詞の用法	
17	聴解・文法・文字語彙(8)		概要理解の聴解・文の文法・漢字	
18	まとめ		まとめ	
後 期（2 時限）				
週	教 程		教 程 内 容	
1	文字語彙・聴解・読解(1)		名詞の文脈規定・統合理解の聴解・内容が一致する読解	
2	文字語彙・聴解・読解(2)		い形容詞の文脈規定・課題理解の聴解・内容が一致する読解	
3	文字語彙・聴解・読解(3)		な形容詞の文脈規定・ポイント理解の聴解・内容が一致する読解	
4	文字語彙・聴解・読解(4)		副詞の文脈規定・概要理解の聴解・内容が一致する読解	
5	文字語彙・聴解・読解(5)		類義の動詞・即時応答の聴解・内容が一致する読解	
6	文字語彙・聴解・読解(6)		類義のい形容詞・統合理解の聴解・筆者の考えを知る読解	
7	文字語彙・聴解・読解(7)		類義のな形容詞・課題理解の聴解・筆者の考えを知る読解	
8	文字語彙・聴解・読解(8)		類義の副詞・ポイント理解の聴解・筆者の考えを知る読解	
9	文字語彙・聴解・読解(9)		動詞の用法・概要理解の聴解・筆者の考えを知る読解	
10	文字語彙・聴解・読解(10)		名詞の用法・即時応答の聴解・筆者の考えを知る読解	
11	聴解・文法・読解(1)		統合理解の聴解・文章の文法・統合理解の読解	
12	聴解・文法・読解(2)		課題理解の聴解・文章の文法・統合理解の読解	
13	聴解・文法・読解(3)		ポイント理解の聴解・文章の文法・統合理解の読解	
14	聴解・文法・読解(4)		概要理解の聴解・文章の文法・統合理解の読解	
15	聴解・文法・読解(5)		即時応答の聴解・文章の文法・統合理解の読解	
16	聴解・文法・読解(6)		統合理解の聴解・文章の文法・情報を検索する読解	
17	聴解・文法・読解(7)		課題理解の聴解・文章の文法・情報を検索する読解	
18	まとめ		まとめ	

専門科目	講義	選択科目：TOEIC	1 学年	前・後期
目的・目標（指標）		目的：TOEIC の問題形式に慣れ、瞬発力、速読力を養う。 目標：TOEIC を積極的に受験し、730 点以上のスコア取得を目標とする。		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教程	教程内容		
1	授業オリエンテーション	TOEIC 新形式テストの構成		
2	TOEIC トライアル	TOEIC ミニテスト		
3	動作と状態、品詞	Part1 Part5		
4	疑問詞、問い合わせ先	単語テスト Part2 Part7		
5	復習テスト 1	単語テスト, Review test1		
6	物の位置、動詞の形	単語テスト Part1 Part5		
7	選択疑問文、情報	単語テスト Part2 Part7		
8	復習テスト 2	単語テスト, Review test2		
9	Yes, No 疑問文、接続詞	単語テスト Part2 Part5		
10	森問題。木問題	単語テスト Part3 Part7		
11	復習テスト 3	単語テスト, Review test3		
12	後半を聞き取る、前置詞	単語テスト Part3 Part5		
13	設問タイプごとの聞き取りパラフレーズ	単語テスト Part4 Part7		
14	復習テスト 4	単語テスト, Review test4		
15	図表を参照、動詞の形	単語テスト Part3 Part5		
16	数字を聞き取る	単語テスト Part4 Part7		
17	復習テスト 5	単語テスト, Review test5		
18	まとめ	まとめ		
後 期（2 時限）				
週	教程	教程内容		
1	TOEIC SW 導入（1）	スピーキング練習		
2	TOEIC SW 導入（2）	ライティング練習		
3	Part3 場所の問い	単語テスト、Part5、速読演習、writing(1)		
4	Part1 正解パターン	単語テスト、Part5、速読演習、writing(2)		
5	Part2 応答パターンの典型	単語テスト、Part6、速読演習、writing(3)		
6	Part7 文書全体を速読	単語テスト、Part5、速読演習、writing(4)		
7	Part7 チャットは読み飛ばさない	単語テスト、Part6、速読演習、writing(5)		
8	Part2 短い中の文脈	単語テスト、Part5、速読演習、writing(6)		
9	Part3&4 発言の意図をつかむ	単語テスト、Part6、速読演習、writing(7)		
10	Part4 日時、場所の問い	単語テスト、Part5、速読演習、writing(8)		
11	Part6 文書のベクトルをつかむ	単語テスト、Part6、速読演習、writing(9)		
12	Part3 次に起こること	単語テスト、Part5、速読演習、writing(10)		
13	Part4 長め選択肢の攻略	単語テスト、Part5、速読演習、writing(11)		
14	Part6 ベストアプローチの確立	単語テスト、Part6、速読演習、writing(12)		
15	Part7 情報の関連付け	単語テスト、Part5、速読演習、writing(13)		
16	Part7 情報の処理能力を高める	単語テスト、Part6、速読演習、writing(14)		
17	模擬試験（1）	過去問		
18	模擬試験（2）	過去問		

専門科目	講義	選択科目：日中通訳・翻訳	1 学年	前・後期
目的・目標（指標）		目的：ビジネスの場面で通用する基本的な逐次通訳能力を修得すること。 目標：様々な訓練を通じ、通訳に必要な技術・知識を学ぶ。日本語と中国語の違いに着目し、訳出日本語表現のブラッシュアップを目指す。クラスの成績係数平均 2.0 以上を目標とする。		
実務家教員の実務経験		日中通訳・翻訳者として幅広い経験があり、通訳・翻訳技術やマナーについて見識がある。		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1	サンプル授業		単語リピート訓練、短文逐次通訳訓練	
2	ウォーミングアップ		アイスブレイク、通訳に必要な能力	
3	69～75「朝食」		69～75 単語リピート、69～71 逐次通訳訓練	
4	中国人が間違えやすい日本語表現(1)		中国人留学生が書いた日本語からの間違い探し①	
5	中国人が間違えやすい日本語表現(2)		中国人留学生が書いた日本語からの間違い探し②	
6	69～75「朝食」		69～75 単語リピ復習、72～74 逐次通訳訓練	
7	69～75「朝食」		75 逐次通訳訓練	
8	通訳ロールプレイ		通訳ロールプレイ	
9	76～88「ホテルでの生活」①		76～88 単語リピート、76～78 逐次通訳訓練	
10	76～88「ホテルでの生活」②		79～83 逐次通訳訓練	
11	76～88「ホテルでの生活」③		84～88 逐次通訳訓練	
12	76～88「ホテルでの生活」④		76～88 復習	
13	通訳ロールプレイ		通訳ロールプレイ	
14	通訳訓練法（1）		シャドーイング	
15	通訳訓練法（2）		リプロダクションとサマライジング	
16	日本語の擬音		擬音解説、擬音を使った訳出練習	
17	日本語の役割語		役割語解説、男性語/女性語と語尾処理を意識した訳出練習	
18	まとめ		まとめ	
後 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1	ウォーミングアップ		アイスブレイク、通訳訓練について	
2	99-102「官庁への表敬」		単語リピート、逐次通訳訓練	
3	103-105「官庁への表敬」		単語リピート、逐次通訳訓練	
4	106-108「官庁への表敬」		単語リピート、逐次通訳訓練	
5	99-108「官庁への表敬」		長文逐次	
6	99-108「官庁への表敬」		ロールプレイ	
7	リプロダクションとサマライゼーション(1)		長文の再生	
8	リプロダクションとサマライゼーション(2)		長文の大意要約	
9	109-112「レクチャー（高度成長）」		単語確認、逐次通訳訓練	
10	109-112「レクチャー（高度成長）」		長文逐次でのロールプレイ	
11	1113-114「レクチャー（バブル経済）」		スピーキング、単語確認	
12	1113-114「レクチャー（バブル経済）」		逐次通訳訓練	
13	109-114「レクチャー」		長文逐次でのロールプレイ	
14	115-116「レクチャー（トップダウン経営）」		単語確認	
15	115-116「レクチャー（トップダウン経営）」		逐次通訳訓練	
16	117-118「レクチャー（トップダウン経営）」		逐次通訳訓練	
17	115-118「レクチャー」		長文逐次でのロールプレイ①	
18	115-118「レクチャー」		長文逐次でのロールプレイ②	

専門科目	講義	選択科目：経営学	1 学年	前・後期
目的・目標（指標）		目的：経営学とは何か基本的な概念について学ぶ。企業における制度、戦略、組織、リーダーシップやモチベーションについての基本的な知識を身につけることを目的とする。 目標：企業における経営の知識を増やし、その企業の行動について具体的に考え、説明できるようになることを目標とする。		
実務家教員の実務経験		企業経営に携わり、業務の企画・立案・実施に関する経験が豊富で、企業経営や企業文化について知識が深い。		
指 導 内 容				
前 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1	オリエンテーション		アイスブレイク、経営学を学ぶ意義	
2	企業の種類と特徴		企業・会社の種類と特徴、株式会社の特徴	
3	戦略の形成 経営理念		経営理念とビジョンとは、様々な企業の経営理念やビジョン	
4	戦略の形成 目的と戦略		企業・組織の目的とは、ドメインと経営戦略の理念	
5	事例（1）		企業戦略についての DVD、レポート作成	
6	戦略の形成 事業とは何か		企業の基本的な戦略、事業とは何か	
7	戦略の形成 ポジショニング		プロダクトライフサイクルとポートフォリオ、ポジショニング	
8	戦略の形成 競争戦略		競争戦略とは、3 つの基本戦略	
9	事例（2）		経営戦略の事例紹介、事例についてのディスカッション	
10	組織の枠組み 組織構造		戦略と組織、基本的な組織構造	
11	組織の枠組み 組織文化		組織文化とは何か、組織構造と組織文化	
12	組織の枠組み コンフリクトのマネジメント		コンフリクトの概念、コンフリクト・マネジメント	
13	人を動かす リーダーシップ（1）		リーダーシップの基本概念、リーダーシップの形態	
14	事例（3）		企業におけるリーダーシップの DVD、ディスカッション	
15	人を動かす リーダーシップ（2）		リーダーシップの概念、有効なリーダーシップ手法	
16	人を動かす モチベーション（1）		欲求階層論、様々なモチベーション理論	
17	人を動かす モチベーション（2）		リーダーシップとモチベーション、報酬とモチベーション	
18	まとめ		経営学についてのまとめ	
後 期（2 時限）				
週	教程		教程内容	
1	オリエンテーション		アイスブレイク、経営学を学ぶ意義	
2	戦略の形成（1）		戦略の基本概念（1）、経営戦略演習（1）	
3	戦略の形成（2）		戦略の基本概念（2）、経営戦略演習（2）	
4	戦略の形成（3）		戦略の基本概念（3）、経営戦略演習（3）	
5	事例 1		企業の戦略についての DVD 鑑賞、鑑賞後のレポート	
6	売れる仕組みをつくる（1）		マーケティングの概念、マーケティングの 4 のステップ（1）	
7	売れる仕組みをつくる（2）		マーケティングの 4 つのステップ（2）マーケティング演習（1）	
8	売れる仕組みをつくる（3）		マーケティング・ミックス（1）マーケティング・ミックス（2）	
9	売れる仕組みをつくる（4）		マーケティング・ミックス（3）マーケティング演習（2）	
10	売れる仕組みをつくる（5）		様々なマーケティング理論、マーケティング演習（3）	
11	事例 2		マーケティングについての DVD 鑑賞、鑑賞後レポート	
12	人材マネジメント（1）		人材マネジメントとは（1）、人材マネジメントとは（2）	
13	人材マネジメント（2）		リーダーシップとは、リーダーシップ演習（1）	
14	人材マネジメント（3）		モチベーションとは、モチベーション演習（2）	
15	人材マネジメント（4）		人材マネジメント演習（1）、人材マネジメント演習（2）	
16	マクロ組織のマネジメント（1）		事例 3M、組織構造のバリエーション	
17	マクロ組織のマネジメント（2）		タスクフォース、SBU 社内ベンチャー	
18	ミクロ組織のマネジメント（1）		事例 未来工業、成果と報酬	